

## 第13回 宝物のような石器

— 東山遺跡(ひたち野西)・ヤツノ上遺跡(ひたち野東) —



東山遺跡出土の神子柴型  
尖頭器(長さ約11cm)

今から1万5千年前ごろに、長さ10cmを超える木の葉形の石器がつくられるようになります。これは「神子柴型尖頭器」とよばれ、長野県の神子柴遺跡で発見された石器をもとに名付けられました。牛久市では、東山遺跡やヤツノ上遺跡で、縄文時代草創期(今から約1万2千年前)の神子柴型尖頭器が見つかっています。東山遺跡出土のものは茨城県北部の久慈川流域でとれるトロトロ石、ヤツノ上遺跡出土のものは東北地方でとれる硬質頁岩でつくられ、石材の産地が広範囲に渡って



います。尖頭器は棒の先につけて使用され、ナウマンゾウなどの大型獣を捕まえていたと考えられています。神子柴型尖頭器は薄く、きれいに仕上げられ、使われた痕跡がありません。おそらく実用品ではなく、人びとに見せるための、宝物のようなものだったと思われる。

◆今回紹介した石器は、かっぱの里ギャラリー(かっぱの里生涯学習センター内)で展示中

## 里山の樹木

問 都市計画課  
☎内線2524

### 第40回

## フジ

開花期の樹冠:牛久町  
平成12年5月7日撮影



花:牛久町  
平成15年5月3日撮影

マメ科フジ属の落葉つる性木本で、本州と九州、県内全域に分布しています。市内では斜面林や林縁などに自生し、観賞用に柵仕立てで広く栽培されています。茎は長く伸びて樹木等に右巻きに絡みつきます。葉は複

## 文芸さろん | 卯月 |

ふらここや代り番こにリボン揺れ  
だぶだぶなセーターの袖小さな手  
馳せくだる銀輪キラッ春まつしぐら  
いくたびか仕舞いかけては春炬燵  
敬老会に兎らに贈られし日日草  
冬越してピンクの花開きたり  
雲海と夕日の間に雪富士見えかくれ

岡村さん  
匿名希望  
高階さん  
倭文子  
静枝  
我氏

### <次回募集テーマは「春」「梅雨」>

【作品募集】イラストや俳句、川柳、短歌など

【あて先】〒300-1292牛久市中央3-15-1

「広報うしく文芸さろん」係 FAX:873-2512

☎ kouhou@city.ushiku.ibaraki.jp

【記載事項】作品、氏名、電話番号

匿名希望の方はその旨(ペンネームもOK)



葉で、長さ20〜30cm、小葉は11〜19枚です。花序は茎の先に20〜90cm伸びて垂下り、多数の花を咲かせます。花は紫色や淡い紅色があります。果実は豆果で、狭倒卵形扁平、長さ10〜19cm、ピロッド状に短毛が密集しています。園芸種が多数あります。四月後半、牛久市観光アヤメ園の藤棚で満開のフジがみられます。また、市内の里山周辺を散歩しますと斜面林の樹木に絡みついた美しいフジの花がみられます。※牛久の里山樹木ハンドブック86ページ掲載。本の問い合わせは牛久自然観察の森(☎874-6600)まで。【資料提供】NPO法人うしく里山会(文章:戸塚昌宏、写真:渡辺泰)

「牛久の巨樹」発売中 ※お求めは都市計画課まで(1,200円)